
人を見る

川崎ゆきお

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
人を見る

【コード】
N1804M

【作者名】
川崎ゆきお

【あらすじ】
話す時は相手の目か顔を見ること

「枕が変わると眠れんだろ」

「はい」

「よく眠れたかい？」

「はい」

マクドよりここのモスのほうがハンバーガー美味しいね」

「そうですねえ」

「君は暑いのは平気かい？」

「はい、寒いのは苦手ですが」

「私は暑いのが駄目なんだよ。ほらこんなに冷房が効いているのに、こんな汗だ。寒けりや厚着すりゃいいんだよ。でも暑いとこれ以上脱げん。夏の外回りでスーツはきついよ」

「はい」

「昨夜もエアコン入れっぱなしで眠ったよ」

「そうですね」

「明日もまた回らないといかん。うんざりするよ……この季節は」

「そうですね」

「君はずっと本社にいたの」

「はい」

「外回りは初めてかい？」

「はい」

「一人欲しいって言ったら君を寄越してくれたよ。助かるよ」

「はい」

「一人と二人とじゃ全然違うからね」

「そうですね」

「期待してるよ」

「初めてなので、よろしくお願いします」

「うんうん」

「では、今日は帰ります」

「まだ宵の口だよ。いろいろ打ち合わせもあるから、これから飲みに行こう」

「でも、まだ部屋の整理が」

「気に入ってくれたか、あのマンション。駅から近いしね。まあ、家賃は会社が払うんだから、いいところ押さえたんだよ」

「はい」

「本社で、何やってたの？」

「主に電話です」

「だろうねえ」

「ちよつと心配な面も」

「あのさ、話す時は相手の目か顔を見ることね。周囲の客を見ないこと」

「はい」

「ほら、また他の人を見る」

「電話ばかりなので、どこを見ていいのか、分からなくて」

「今、私と話しているんだからね、よそ見ばっかりしてるよ君は。知らない人の顔色見てどうするの？」

「はい」

「ほら、まただ」

「はい」

了

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1804m/>

人を見る

2010年10月11日07時52分発行